

別添 1

基本評価シート
様式

(京都府 農村振興課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和3年度指定管理鳥獣捕獲等業務（南丹市四ッ谷田原）		
	令和3年度指定管理鳥獣捕獲等業務（南丹市日吉ダム）		
都道府県名	京都府	担当者部・係名	農林水産部農村振興課
担当者名	小栗 勇太	担当者連絡先	075-414-5022
捕獲実施事業者	（一社）京都府猟友会 ※認定済	予算額（※2）	24,183,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	12,000,000円 （うち【四ッ谷田原】 10,000,000円 うち【日吉ダム】 2,000,000円）

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和3年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
【四ッ谷田原】101頭	38頭	38%
【日吉ダム】35頭	17頭	49%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
96,000頭（令和2年度）	令和2年度の個体数を令和8年度に半減	48,000頭（令和8年度）
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
8,125頭（R2）	16,667頭（R2）	0頭（R2）

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

府単独の個体群管理事業は実施していない。

2. 令和3年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>京都府におけるニホンジカ（以下、シカという。）の分布状況は、市街地を除く府内ほぼ全域で、近年ではこれまでシカが生息していなかった北部地域の丹後半島へも拡大している。</p> <p>府では、人とシカの共存を図ることを目的に平成5～7年度の3年間、府内一円で実施した生息状況調査等に基づき、平成8年度にシカ適正管理指針を策定し、平成9年度から同指針に基づく個体数管理の一環としてメスジカの狩猟獣化に取り組んできた。平成12年度には同指針に基づき、平成9年度から実施したモニタリング調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理計画ーニホンジカ（第1期）を策定し、個体数管理を行うと同時に地域ぐるみの防除対策に努めてきた。令和4年4月からは第6期計画となる第二種特定鳥獣管理計画ーニホンジカを策定し、さらなる対策を推進している。</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画では、シカの推定生息頭数を令和2年度時点で約96,000頭と推定し、これを令和8年度に半減することを管理目標としている。目標達成のための年間捕獲目標頭数は、シュミレーションによりメス15,000頭とし、捕獲対策を強化しているところである。また、平成23年度から恒久型防護柵の整備を進め、被害の防止に努めている。</p> <p>府内のシカによる農作物被害は令和2年度に7千3百万円と過年度から減少傾向にあったものの近年横ばいで推移しており、対策の効果は出ているものの、なお甚大な被害が発生している。この他にも、シカの食害により森林の下層植生が衰退する等、森林生態系等へも深刻な影響を及ぼしている。また、シカの生息域の拡大等に伴い交通事故など生活環境被害も発生している。そこで、平成26年5月に法改正により創設された「指定管理鳥獣捕獲等事業」を活用し、府が事業主体となって、生息個体数に対して捕獲が十分に進んでいない地域を対象とし、捕獲事業を実施することとする。</p> <p>なお、特定計画においては、狩猟及び有害鳥獣捕獲の実施に加えて、指定管理鳥獣捕獲等事業を策定し、生息密度が高く、捕獲が進んでいない地域において、市町村と連携して捕獲を推進することとしている。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p>
人材育成の観点	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
実施期間	<p>【四ッ谷田原】令和4年1月7日～令和4年3月25日</p> <p>【日吉ダム】令和4年2月3日～令和4年3月25日</p>
実施区域	<p>比較的生息密度が高いが周囲と比較して捕獲が進んでおらず、地元から捕獲要望が高い地域である（添付図1【四ッ谷田原】、図2【日吉ダム】）。本年度は2年間で実施する計画の1年目にあたる。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<p>〈府広域振興局及び関係市〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、警察署、狩猟者への説明及び周知 ・捕獲に係る各種許可等の申請にあたっての指導等
事業の捕獲目標	<p>（ 40 %達成）</p>

	= (55 実績値) / (136 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り【四ッ谷田原】 <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<p>【わな猟】</p> <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな【日吉ダム】 <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 () ※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可
捕獲個体の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：捕獲個体の右半身にスプレーで捕獲個体番号を記載の上、捕獲者・捕獲日・捕獲従事者番号・捕獲場所・個体番号を記載した黒板等と共に写真を撮影する。 <input type="checkbox"/> その他 () ※複数チェック可。
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：餌にヘイキューブ等の乾草を用いる ） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	緊急事態発生の連絡がなされてから、指導監督者の直接の指示により、指導監督者又は捕獲従事者等のうち2名以上が、捕獲事業実施区域へ1時間以内に到着し、応急措置及び関係機関との対応が開始できる体制を構築。
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：72人 （内訳） 正規雇用者：1人、期間雇用者：0人 日当制：71人

3. 令和3年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：</p> <p>【四ッ谷田原】捕獲目標達成率は38%（目標101頭に対して、捕獲数38頭）で、目標を達成できなかったが、うち35頭がメスジカであり、生息数増加抑制に一定の効果があったものと思われる。</p> <p>【日吉ダム】捕獲目標達成率は49%（目標35頭に対して、捕獲数17頭）で、目標を達成できなかった。</p> <p>改善点：</p> <p>【四ッ谷田原】仕様書上の必要数量と実際の数量を比較すると、仕様書では140人日以上捕獲に従事するところを実際は172人日従事した。やや仕様書より多く捕獲作業に費やしたものの、捕獲目標頭数は達成できなかった。次年度の目標設計は、今年度と同様の手法で算出するが、捕獲時期や効率的な捕獲の工夫が必要と考えられる。2か年の事業として、次年度も継続して捕獲を行うことで、区域内の生息密度の半減という目標の達成を目指す。</p> <p>【日吉ダム】仕様書上の必要数量と実際の数量を比較すると、仕様書ではくくりわな1,200台日以上稼働するところを実際は1,320台日稼働した。やや仕様書より多くわなを稼働したものの、捕獲目標頭数は達成できなかった。次年度の目標設計は、今年度と同様の手法で算出するが、捕獲時期や効率的な捕獲の工夫が必要と考えられる。2か年の事業として、次年度も継続して捕獲を行うことで、区域内の生息密度の半減という目標の達成を目指す。</p>
【実施期間】	<p>評価：</p> <p>【四ッ谷田原】事業の実施期間は約3か月間であった。指定管理鳥獣捕獲等事業は契約日から実際の捕獲作業に入るまで2か月の準備期間を確保することが望ましい。十分な準備を行うことで安全な捕獲が実施できるためである。本事業では、契約から捕獲開始までの期間は2ヶ月弱の期間があった。安全管理上、十分な期間が確保されていたといえる。また、捕獲期間中に対象動物の生息状況に応じて実施日や期間を選択することで捕獲効率の向上につながる。本事業では捕獲回数（7日）と対象区域の面積を考えると、選択の余地は十分に確保されていたとは言い難い。</p> <p>【日吉ダム】事業の実施期間は2ヶ月弱であった。本事業では、契約から捕獲開始までの期間は20日間であった。わなでの捕獲になるが、安全</p>

	<p>管理上、十分な時間が取れていたとは言い難い。また、捕獲期間中に対象動物の生息状況に応じて、わなの位置や稼働期間を選択したりすることで捕獲効率の向上につながる。本事業ではわな稼働日数（22日）であったため、選択の余地は十分に確保されていたとは言い難い。</p> <p>改善点：</p> <p>【四ッ谷田原】来年度は、準備期間及び捕獲実施期間を十分に確保できるように、余裕のある実施期間を設定することが必要となる。</p> <p>【日吉ダム】来年度は、準備期間及び捕獲実施期間を十分に確保できるように、余裕のある実施期間を設定することが必要となる。</p>
<p>【実施区域】</p>	<p>評価：</p> <p>【四ッ谷田原】本区域は事前のセンサーカメラ調査によって、シカの生息密度が 31.6 頭/km²と推定されており、中～高程度の密度の区域であると考えられる。住民からの要望がある区域でもあることから、適当な区域であったといえる。</p> <p>【日吉ダム】本区域は既存データにより、シカの生息密度が 62.5 頭/km²と推定されており、精度はそれほど高くないが、中～高程度の密度の区域であると考えられる。住民からの要望がある区域でもあることから、適当な区域であったといえる。</p> <p>改善点：</p> <p>【四ッ谷田原】今後も実施区域を設定する際は、被害状況や住民からの要望、生息状況についての情報を事前に十分に収集することが必要となる。</p> <p>【日吉ダム】今後も実施区域を設定する際は、被害状況や住民からの要望、生息状況についての情報を事前に十分に収集することが必要となる。</p>
<p>【捕獲手法】</p>	<p>評価：</p> <p>【四ッ谷田原】巻き狩りによる捕獲を実施した。捕獲数は 38 頭、CPUE は 0.22 頭/人日であった。当該区域のある狩猟メッシュおよびその周辺部における、平成 29～令和 2 年度の銃猟（狩猟）の CPUE は 0.1～0.2 頭/人日であったことから、狩猟に比べて、わずかに大きい CPUE 値を示したが、指定管理鳥獣捕獲等事業が公共事業であることを考慮すると、要求される水準を満たしたとは言い難い。入念な事前調査の実施と捕獲期間の確保が必要といえる。</p> <p>【日吉ダム】くくりわなによる捕獲を実施した。捕獲数は 17 頭、CPUE は 1.3 頭/100 台日であった。当該区域のある狩猟メッシュおよびその周辺部における、平成 29～令和 2 年度のわな猟（狩猟）の CPUE は 0.7～</p>

	<p>1.2 頭/100 台日であったことから、狩猟に比べて、わずかに大きい CPUE 値を示したが、指定管理鳥獣捕獲等事業が公共事業であることを考慮すると、要求される水準を満たしたとは言い難い。入念な事前調査の実施と捕獲期間の確保が必要といえる。</p> <p>改善点： 【四ッ谷田原】 メスジカの選択捕獲ができていない状況であり、特に巻き狩り（銃猟）の実施について改善点はない。 【日吉ダム】 捕獲効率を上げるための技術的な工夫やわなの移設等ができる十分な捕獲期間を確保し、稼働台日数を満たすだけにならないような仕組みを検討する必要がある。</p>
<p>2. 体制整備に関する評価及び改善点</p>	
<p>【実施体制】</p>	<p>評価： 【四ッ谷田原】 調査事業と捕獲事業を別発注とし、異なる事業者が各事業を実施した。 【日吉ダム】 調査事業と捕獲事業を別発注とし、異なる事業者が各事業を実施した。</p> <p>改善点： 【四ッ谷田原】 特に問題点はない。 【日吉ダム】 特に問題点はない。</p>
<p>【個体処分】</p>	<p>評価： 【四ッ谷田原】 捕獲地点にて埋設を実施した。また、一部の個体については、重機により埋設穴を掘削し、捕獲個体を埋設した。法令に従い適切な処理がされた。埋設穴にはネットを被せ、侵入防止ロープを設置していたが、電気柵は設置されなかった。 【日吉ダム】 重機により埋設穴を掘削し、捕獲個体を埋設した。また、一部の個体については、捕獲当日にツキノワグマの捕食の形跡があったため、安全のため埋設作業を断念。翌日確認したところ、ツキノワグマが捕獲個体を持ち去った形跡があった。法令に従い適切な処理がされた。埋設穴にはネットを被せ、侵入防止ロープを設置していたが、電気柵は設置されなかった。</p> <p>改善点： 【四ッ谷田原】 捕獲対象区域は、ツキノワグマの生息域である。そのような場所では大量の捕獲個体を埋設すると、最終埋設までの間にツキノワグマを強く誘引する危険性がある。今後は、電気柵等によるツキノワグマの誘引対策を実施することを仕様書に定めるべきである。</p>

	<p>【日吉ダム】捕獲対象区域は、ツキノワグマの生息域である。そのような場所では大量の捕獲個体を埋設すると、最終埋設までの間にツキノワグマを強く誘引する危険性がある。今後は、電気柵等によるツキノワグマの誘引対策を実施することを仕様書に定めるべきである。</p>
【環境配慮】	<p>評価： 【四ッ谷田原】鉛弾を使用した。鉛中毒症例の把握のための取り組みはされていない。 【日吉ダム】止めさしはすべて刃物で実施し、銃は使用していない。</p> <p>改善点： 【四ッ谷田原】鉛中毒防止のため、今後は非鉛弾の使用を推進する。 【日吉ダム】鉛中毒防止のため、今後は非鉛弾の使用を推進する。</p>
【安全管理】	<p>評価： 【四ッ谷田原】作業開始前後のミーティングを適切に実施した。埋設穴に侵入防止ロープを張り、ネットを被せることで第3者への配慮が見られた。 【日吉ダム】作業開始前後のミーティングを適切に実施した。埋設穴に侵入防止ロープを張り、ネットを被せることで第3者への配慮が見られた。</p> <p>改善点： 【四ッ谷田原】来年度も引き続き安全管理の徹底を義務付ける。 【日吉ダム】来年度も引き続き安全管理の徹底を義務付ける。</p>
<p>3. その他の事項に関する評価及び改善点 捕獲事業受託者において、指定の記録様式に従い、適切に業務の報告がなされた。</p>	
<p>4. 全体評価 計画面では、目標設定、実施区域は、適切な事業設計がなされたといえる。ただし、十分な捕獲期間を確保するため、実施期間を検討すべきである。捕獲作業面では、適切な体制の下で事故なく作業できた。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

令和3年度の府全域の捕獲目標数 26,000 頭（メス 15,000 頭、オス 11,000 頭）に対して、本事業が占める割合は 0.21%と寄与の程度は高くない。

【四ッ谷田原】センサーカメラ調査で推定された、対象区域の個体数は 397 頭と推定されている。捕獲時期は、調査約 6 か月後であるため大雑把な計算になるが、本事業によっ

て対象区域の約 10%のシカを除去したことになる。

【日吉ダム】既存データにより、事前に算出した、対象区域の個体数は 95 頭と推定されている。本事業によって対象地域の約 18%のシカを除去したことになる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する	特になし

上での課題	
-------	--

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲【四ッ谷田原】

外業の人日数総数^{※1}: 192 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 20 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 172 人日

(作業時間に関わらず作業した日は1日と計上した。)

項目	令和3年 (事業年度の値)	令和2年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (銃猟) のべ人日数	156 人日 (警備員除く)	【大江町西部】 63 人日 【京都・南丹】 159 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲【日吉ダム】

外業の人日数総数^{※1}: 73 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 7 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 66 人日

項目	令和3年 (事業年度の値)	令和2年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日 数)	1,320 基日	実施せず	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲【四ッ谷田原】

項目	令和3年 (事業年度の値)	令和2年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	38 頭	【大江町西部】 42 頭 【京都・南丹】 74 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	77 頭	【大江町西部】 111 頭 【京都・南丹】 171 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.92	【大江町西部】 0.90 【京都・南丹】 0.72	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.0	【大江町西部】 0.0 【京都・南丹】 0.0	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和3年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	38 頭	172 人日	0.22 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.45 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲【日吉ダム】

項目	令和3年 (事業年度の値)	令和2年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	17 頭	実施なし	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.76	実施なし	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.0	実施なし	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和3年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	17 頭	1,320 基日	0.013 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 94.5 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

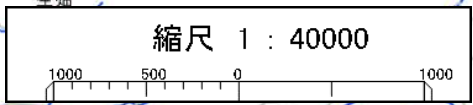
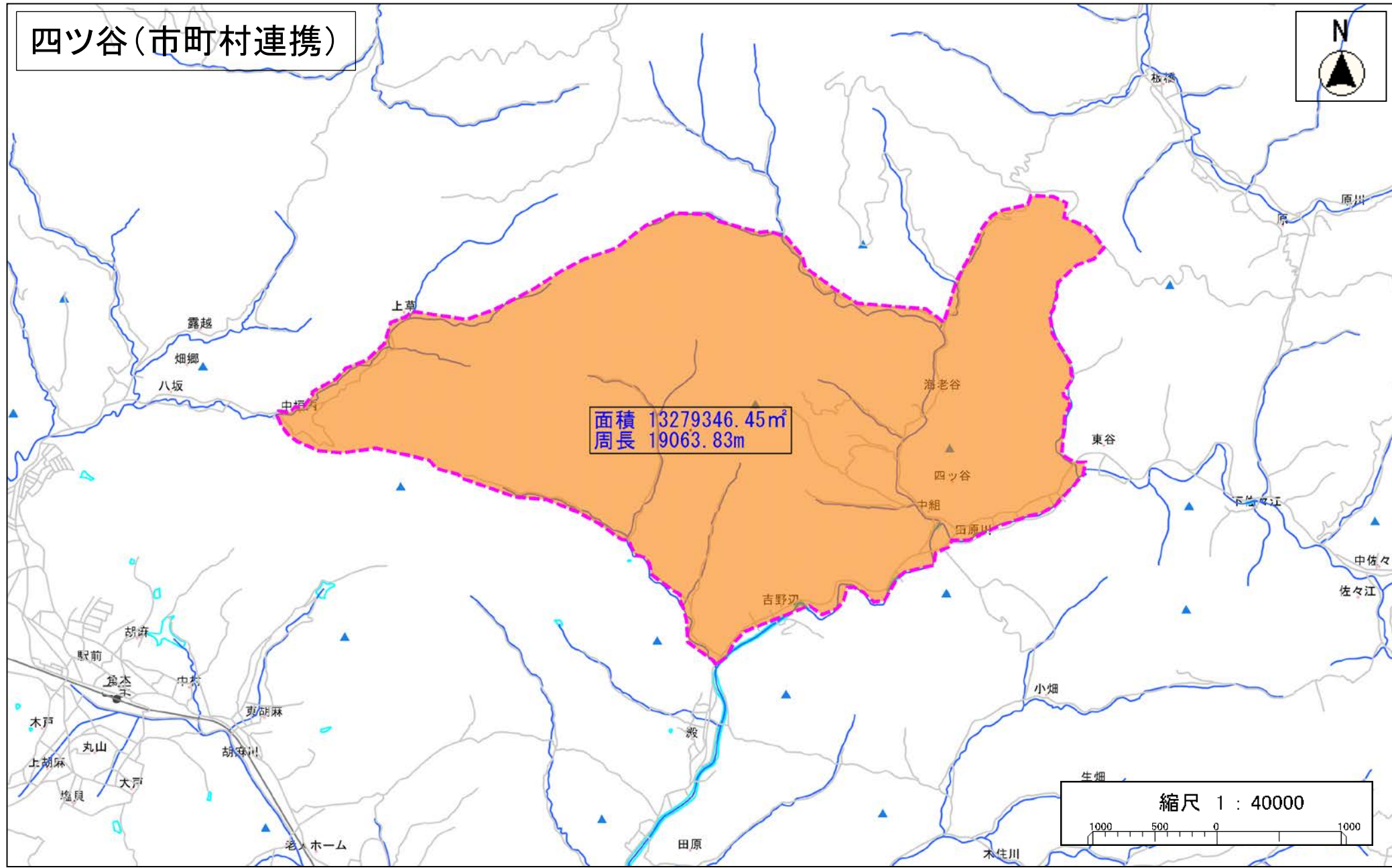
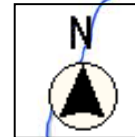
処理状況を埋設場所において場所が判別できるよう、捕獲個体を写真に記録する。

捕獲個体から尾を回収し、捕獲個体番号を記載した容器（ビニール袋等）に入れ、捕獲個体番号、捕獲日時等を記載し、発注者に提出する。

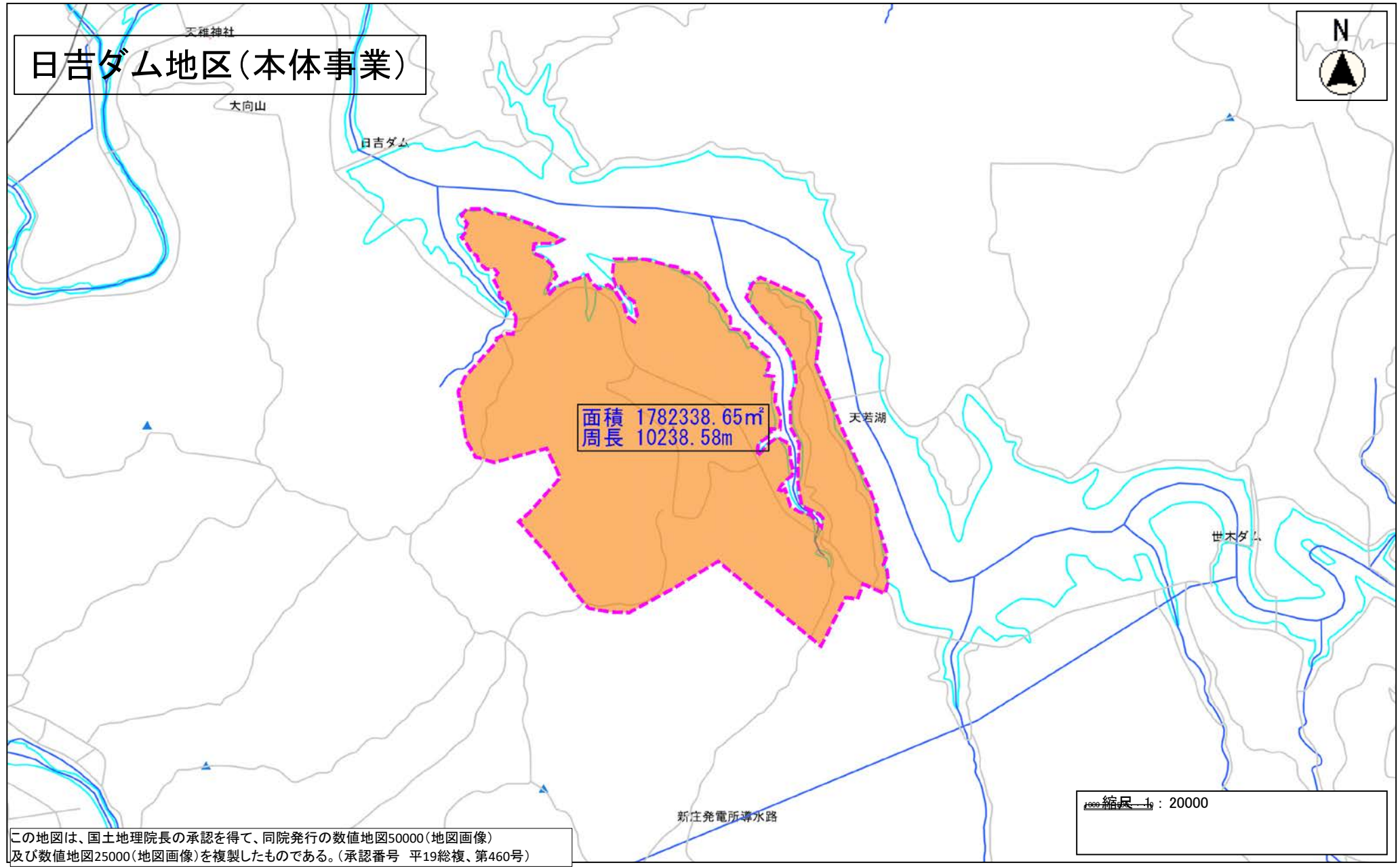
捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

四ツ谷(市町村連携)



日吉ダム地区(本体事業)



面積 1782338.65㎡
周長 10238.58m

縮尺 1 : 20000

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総複、第460号)